

「文珠莊 松露亭」で楽しむ 松葉蟹の新たなる美味

「目の前に天橋立を楽しめる宿で、たやすく蟹のコースはまさに絶品！」
神戸のホスピタリティをテーマにした講演活動などで全国各地を飛び回っている永末春美さんが、そう絶賛するのは、「文珠莊 松露亭」。日本海につながる京丹後沖でとれる大ぶりの松葉蟹の最高級ともいわれる甘みと刺身で、焼きで、茹でて、しゃぶし

やぶで、と、さまざまな調理法を楽しめますが、なかでも「この宿ならではのものが」と考案された「蟹味噌フォンデュ」は、人気のメニュー。蟹味噌の碗ものをヒントに生まれた鍋で、蟹の関節でとつだして煮だしなを合せたものに、白味噌を加え、クリーミーな洋風のエッセンスをプラス。クツクツしたところに蟹をくぐらせて食せば、意外にもあさりとした味わいのながら蟹味噌の風味がワ

ツと立ち上ります。チーズのほんのりしたコクも絶妙で、「オーブンデュ」と立派な名前ですが、その甘みが溶け込んだらしくは、そのまま飲んでも、リゾットにしても、岬の木立の中に佇む木造離れ平屋造りの11室は、変わらぬ伝統と、おもてなしの心があふれる宿として永末さんへ出て海を望めるほど広がるの絵に描いたような風光明媚な風景。幸せがじんわり込み上げます。



各部屋に、ひとり1本の生きを持ち込み、「脚2本を刺身残りは焼いて…」と調理法ができる「蟹チャイズプラン」。炭火で焼いてもらう焼き、香りも立ちそそぐ。著名人もよく利用する特別室「は、驚くほど静か。



名宿DATA

文珠莊 松露亭
府宮津市天の橋立文殊堂岬
72-22-2151 特別室「雲井」
松葉蟹の蟹味噌フォンデュ
料金: 2名1室利用時1名￥70,000
通常のお部屋は2名1室利用時
￥30,000~。『蟹チャイズプラン』
は3月20日まで。
<http://www.shourotei.com/>



天橋立温泉は「神々の湯場」と称される美肌の湯。お風呂の浴槽は高野檜。壁は栗の木。



Precious魚介会議②
生息地、水揚げ地限定の
ズワイ蟹ブランド
松葉蟹
オホーツク海から日本海全般に生息しているズワイ蟹のなかでも、京都から島根県の沖合で生息、水揚げされた蟹だけが、松葉蟹と呼ばれる。漁港ごとにタグを付け、身の入り具合を確かめるなど厳しい品質管理で、ブランドとして高い信頼を得ている高級食材。



「蟹味噌フォンデュ」は、生の蟹でもボイルしたものでも。聖護院黒やブロッコリー、小タマネギなど地元野菜もたっぷり。